

京都大学構内遺跡調査研究年報

2001年度

京都大学埋蔵文化財研究センター

卷首図版



京都大学吉田南構内A R24区 平安時代後期の経塚遺構S X 1

序

埋蔵文化財研究センターが大学敷地内に残る遺跡の発掘調査を開始して、30年目をむかえようとしている。この間に、先史時代から近世にいたる長い時代の歴史を刻んだ豊富な資料を収集し、その調査の成果を、年次報告書および発掘調査報告書として刊行して、吉田キャンパスを中心とする北白川一帯の地域史に、新たな情報を加えながら歴史の復元を試みてきた。

本年報は、2001年度に埋蔵文化財研究センターがおこなった、大学敷地内の遺跡調査の報告と、それに関連する研究成果をまとめた紀要とからなっている。第Ⅰ部で報告する2件の発掘調査は、吉田キャンパスのほぼ中央にあたる、本部構内の共通管理棟および吉田南構内の全学共通教育棟の新営にもなつて実施したものである。これらの成果として第2章では、中世から近世にわたつて利用された白川道の遺構の時代的な変遷、幕末の尾張藩邸をとりまく水路や堀の位置関係などの資料について、第3章では、平安時代の経塚や中世吉田社に関連する遺構などの内容を中心に報告している。このほかに第4章では、立合調査をおこなつた7地点の遺跡のうち、主要な3件についてその概要を報告したものである。これらの資料を整理するにあつては、学内・学外の多くの研究分野の方々から、ご協力とご指導をいただいた。また第Ⅱ部の紀要では、過去の発掘調査の報告で考察が深められていなかった資料を、あらためて詳細に検討した2つの論文と、考古資料を取りまく時代背景を、文献史料の面から考察した論文とからなっている。ご高覧いただきご批判下さるようお願いしたい。

おわりに、これらの調査を進める上でご指導ご助言をいただいた、学内学外の関係者および調査機関、とりわけ発掘にあつて多くのご協力を賜つた、施設・環境部、総合人間学部の関係各位には、ここに厚くお礼申し上げる次第である。

2006年3月

京都大学埋蔵文化財研究センター長

上原真人

例 言

- 1 本年報は、京都大学構内で2001年4月1日から2002年3月31日までに発掘、整理作業をおこなった埋蔵文化財調査と保存の報告、および京都大学埋蔵文化財研究センターにおける研究成果をまとめたものである。
- 2 国土座標にしたがって一辺50mの方形の地区割りをして、遺跡の位置を表示した。
- 3 層位と遺構の位置については、国土座標第Ⅵ座標系（日本測地系、 $x = -108,000$
 $y = -20,000$ ）が（ $X = 2,000$ $Y = 2,000$ ）となる京都大学構内座標により表示した。
- 4 遺構の略号は、奈良文化財研究所の方式にしたがって、井戸：SE、土坑：SKのように表示し、各調査ごとに通し番号を1から付した。
- 5 遺物には、遺跡の調査名を示すローマ数字と、調査ごとの通し番号を1から付した。この遺物番号は、本文、実測図、写真を通じて表示を統一した。
I：京都大学本部構内AT21区の発掘調査
II：京都大学吉田南構内AR24区の発掘調査
（例 I 1：京都大学本部構内AT21区出土遺物1番）
- 6 原則として、遺物の実測図は縮尺1/4、遺物の写真は約1/2に統一した。他の縮尺のもの、それぞれに縮尺を明記した。
- 7 参考文献は、本文中に〔著者名 発表年〕の形式で表わし、巻末に一括した。
- 8 古代・中世土師器の型式分類は、とくにことわりがない場合、『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅱ』（1981年）にしたがっている。
- 9 本文の執筆者名は各章の初めに列記した。また、遺物の撮影はそれぞれ報告者が担当した。
- 10 編集は、吉江崇が担当し、清水芳裕、千葉豊、伊藤淳史、富井眞、阪口英毅、梶原義実、磯谷敦子、北尾敬子、柴垣理恵子が協力した。

京都大学構内遺跡調査研究年報 2001年度

目 次

第 I 部 2001年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

第 1 章	2001年度京都大学構内遺跡調査の概要	1
1	調査の経過	1
2	調査の成果	1
第 2 章	京都大学本部構内 A T 21 区の発掘調査	3
1	調査の概要	3
2	層 位	4
3	縄文・弥生時代の遺跡	4
4	古代の遺跡	15
5	中世の遺跡	21
6	近世の遺跡	54
7	中世～近世の道路遺構	58
8	幕末の遺跡	69
9	近代の遺跡	88
10	小 結	91
第 3 章	京都大学吉田南構内 A R 24 区の発掘調査	97
1	調査の概要	97
2	層 位	98
3	縄文・弥生時代の遺跡	101
4	古代の遺跡	145
5	平安後期の経塚遺構 S X 1	158
6	中世の遺跡	171

7 古代・中世の瓦	186
8 近世の遺跡	220
9 小 結	226
第4章 京都大学病院構内・本部構内の立合調査	235
1 病院構内A F 12区・A F 13区の立合調査	235
2 本部構内A T 25区の立合調査	237
参 考 文 献	239
京都大学構内遺跡調査要項	243
報 告 書 抄 録	250

第Ⅱ部 京都大学埋蔵文化財研究センター紀要XⅦ

遺棄から埋没まで

——弥生土器の原位置論的分析——

1 はじめに	253
2 遺跡の概要と作業の方針	254
3 堆積環境	255
4 遺物の特徴	258
5 出土の状況	266
6 接合関係の読みと接合線の読み	273
7 破損状況の復原	279
8 おわりに	283

中世吉田地域の景観復原

1 はじめに	287
2 福勝院の成立	288

3	勸修寺流吉田家の吉田亭	292
4	浄蓮花院の変質と中世白川道	296
5	吉田社の領域的支配	299
6	おわりに	304

考古資料としての蓮月焼

1	蓮月焼とは	311
2	出土資料	314
3	小 結—まとめと今後の課題—	322

図	版	卷末
---	---	----

図 版 目 次

巻首図版 京都大学吉田南構内A R24区 平安時代後期の経塚遺跡S X 1

図版 1 京都大学吉田キャンパスの地区割と調査地点

図版 2 京都大学本部構内A T21区

道路S F 2・S F 4の断面

図版 3 京都大学本部構内A T21区

1 表土除去後の調査区全景(北から) 2 調査区東半の遺構(北から)

図版 4 京都大学本部構内A T21区

1 弥生前期の地形(北から) 2 落ち込みS H 1(東から)

3 土坑S X31(東から) 4 土坑S X20(南から)

5 土坑S K46遺物出土状況(西から) 6 集石土坑S K29(西から)

図版 5 京都大学本部構内A T21区

1 埋納遺構S X24(東から) 2 埋納遺構S X24(西から)

3 埋納遺構S X24内部(南から) 4 埋納遺構S X24内部(北から)

5 土坑墓S X23(北から) 6 土坑S X25(南から)

図版 6 京都大学本部構内A T21区

1 土坑S K28(西から) 2 大溝S D15(南から)

3 井戸S E 6(北から) 4 井戸S E12(西から)

5 井戸S E 7(北から) 6 埋納遺構S X22(南から)

図版 7 京都大学本部構内A T21区

1 道路S F 4路面(南西から) 2 道路S F 4石敷(南西から)

3 集石遺構S X41(北東から) 4 道路S F 4断面(畔B東壁)

5 道路S F 3(北から) 6 道路S F 3断面(畔2北壁)

図版 8 京都大学本部構内A T21区

1 道路S F 2最上面(南東から) 2 道路S F 2轍検出状況(南西から)

3 道路S F 2轍検出状況(東から)

図版 9 京都大学本部構内A T21区

1 道路S F 2断面(畔A東壁) 2 S F 2側溝断面(畔A東壁)

3 道路S F 2断面(畔B東壁)

- 図版10 京都大学本部構内A T21区
- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 水路SD2 (北西から) | 2 水路SD2 (東から) |
| 3 SD2・SX6合流部 (西から) | 4 水路SD2石敷 (西から) |
| 5 水路SD14南端 (南から) | 6 堀SD3 (北東から) |
- 図版11 京都大学本部構内A T21区
- | | |
|------------------|---------------|
| 1 水路SD1南端 (北東から) | 2 水路SD1 (西から) |
| 3 水路SD1 (南東から) | 4 水路SD8 (東から) |
| 5 池SG1 (南から) | 6 道路SF1 (南から) |
- 図版12 京都大学本部構内A T21区
白色砂礫出土遺物, 褐色土出土遺物
- 図版13 京都大学本部構内A T21区
黒灰色土出土遺物
- 図版14 京都大学本部構内A T21区
SK40出土遺物, SK53出土遺物, SX20出土遺物,
SK46出土遺物, SX31出土遺物
- 図版15 京都大学本部構内A T21区
古代の遺物
- 図版16 京都大学本部構内A T21区
SX21出土遺物, SX21上面出土遺物, SX24出土遺物, SK28出土遺物
- 図版17 京都大学本部構内A T21区
SE8出土遺物, SE12出土遺物, SD16出土遺物, 茶褐色土出土遺物
- 図版18 京都大学本部構内A T21区
SX24出土遺物
- 図版19 京都大学本部構内A T21区
SE12出土轡
- 図版20 京都大学本部構内A T21区
軒丸瓦, 軒平瓦, 道具瓦, 塼
- 図版21 京都大学本部構内A T21区
- | |
|-------------------------------|
| 1 SF4以前の遺物, SF4出土遺物, SX42出土遺物 |
| 2 SF3出土遺物, SF3・4合流部出土遺物 |

- 図版22 京都大学本部構内A T21区
 1 SF2下層出土遺物
 2 SF2中層出土遺物, SF2上層出土遺物
- 図版23 京都大学本部構内A T21区
 1 SD28出土遺物
 2 SD13出土遺物
- 図版24 京都大学本部構内A T21区
 SX2出土遺物(1)
- 図版25 京都大学本部構内A T21区
 SX2出土遺物(2)
- 図版26 京都大学本部構内A T21区
 SX2出土遺物(3)
- 図版27 京都大学本部構内A T21区
 近代の遺物
- 図版28 京都大学吉田南構内A R24区
 1 近世の遺構全景(南から) 2 中世の遺構全景(南から)
- 図版29 京都大学吉田南構内A R24区
 1 黄色砂上面掘り上げ後全景(南から)
 2 黄色砂除去後全景(南から)
- 図版30 京都大学吉田南構内A R24区
 1 完掘後全景(南から) 2 調査区北壁層位(1)
 3 調査区北壁層位(2)
- 図版31 京都大学吉田南構内A R24区
 1 集石SK4(東から) 2 瓦溜SX2検出状況(東から)
 3 SD51東端部遺物出土状況(南から) 4 SD51中央部遺物出土状況(西から)
 5 石室SK26(西から) 6 柵SA1~SA3(南から)
- 図版32 京都大学吉田南構内A R24区
 1 SD106N中層集石検出(東から) 2 SD106N中層集石細部(南から)
 3 SD106N中層動物骨出土状況 4 SD106完掘全景(東から)
 5 SD106断面(1)(調査区西壁) 6 SD106断面(2)(調査区東壁)

- 図版33 京都大学吉田南構内A R 24区
1 経塚S X 1 発見時の状況（南から）
2 経塚S X 1 全景（西から）
3 経塚S X 1 細部
- 図版34 京都大学吉田南構内A R 24区
1 瓦溜S X 4 検出状況（北から） 2 瓦溜S K 25検出状況（西から）
3 瓦溜S X 11検出状況（南から） 4 瓦溜S K 20検出状況（東から）
5 掘立柱建物S H 1（南西から） 6 掘立柱建物S H 2（北から）
- 図版35 京都大学吉田南構内A R 24区
1 弥生前期土器の出土状況
2 調査区北壁際縄文後期土器出土状況
3 調査区北辺シルト層深掘り状況（南から）
- 図版36 京都大学吉田南構内A R 24区
縄文後期以前の土器(1)
- 図版37 京都大学吉田南構内A R 24区
縄文後期以前の土器(2)
- 図版38 京都大学吉田南構内A R 24区
縄文後期以前の土器(3)
- 図版39 京都大学吉田南構内A R 24区
縄文後期以前の土器(4)
- 図版40 京都大学吉田南構内A R 24区
縄文後期以前の土器(5)
- 図版41 京都大学吉田南構内A R 24区
縄文後期以前の土器(6)
- 図版42 京都大学吉田南構内A R 24区
縄文晩期の土器
- 図版43 京都大学吉田南構内A R 24区
弥生前期の土器(1)
- 図版44 京都大学吉田南構内A R 24区
弥生前期の土器(2)

- 図版45 京都大学吉田南構内A R24区
弥生前期の土器(3)
- 図版46 京都大学吉田南構内A R24区
弥生前期の土器(4)
- 図版47 京都大学吉田南構内A R24区
弥生前期の土器(5)
- 図版48 京都大学吉田南構内A R24区
1 内傾口縁土器, 条痕調整の土器片
2 同上内面
- 図版49 京都大学吉田南構内A R24区
縄文・弥生時代の石器
- 図版50 京都大学吉田南構内A R24区
弥生中期の土器
- 図版51 京都大学吉田南構内A R24区
古代の遺物
- 図版52 京都大学吉田南構内A R24区
経塚S X 1 関連出土遺物
- 図版53 京都大学吉田南構内A R24区
中世の遺物
- 図版54 京都大学吉田南構内A R24区
古代・中世の瓦(1)
- 図版55 京都大学吉田南構内A R24区
古代・中世の瓦(2)
- 図版56 京都大学吉田南構内A R24区
古代・中世の瓦(3)
- 図版57 京都大学吉田南構内A R24区
近世の遺物

挿 図 目 次

本部構内 A T 21 区の発掘調査	
<p>図 1 調査区東西畔の層位…………… 5</p> <p>図 2 弥生前期の地形…………… 6</p> <p>図 3 白色砂礫出土遺物…………… 7</p> <p>図 4 褐色土出土遺物…………… 9</p> <p>図 5 黒灰色土出土遺物(1)……………10</p> <p>図 6 黒灰色土出土遺物(2)……………11</p> <p>図 7 黒灰色土出土遺物(3)……………12</p> <p>図 8 黒灰色土出土遺物(4)……………13</p> <p>図 9 歴史時代遺物包含層出土 縄文土器……………14</p> <p>図10 歴史時代遺物包含層出土 弥生土器……………15</p> <p>図11 古代の遺構……………16</p> <p>図12 S K 40出土遺物, S K 53出土遺物, S X 20出土遺物, S K 46出土遺物 ……………17</p> <p>図13 S X 31出土遺物……………18</p> <p>図14 中世遺構・遺物包含層出土 古代の遺物(1)……………19</p> <p>図15 中世遺構・遺物包含層出土 古代の遺物(2)……………20</p> <p>図16 中世の遺構……………22</p> <p>図17 土坑墓 S X 23・集石土坑 S K 29 ……………23</p> <p>図18 S X 21出土遺物, S X 21上面出土遺物……………25</p>	<p>図19 S E 7出土遺物, S K 58出土遺物, S K 35出土遺物, S K 59出土遺物, S K 57出土遺物……………26</p> <p>図20 S X 16出土遺物, S X 24出土遺物(1)……………27</p> <p>図21 S X 24出土遺物(2)……………28</p> <p>図22 S K 56出土遺物, S K 64出土遺物, S K 15出土遺物, S K 45出土遺物, S K 52出土遺物, S K 42出土遺物, S K 41出土遺物, S K 44出土遺物, S K 67出土遺物……………29</p> <p>図23 S E 9出土遺物, S E 11出土遺物, S K 30出土遺物……………31</p> <p>図24 S D 19出土遺物, S K 37出土遺物, S K 38出土遺物, S K 39出土遺物, S K 36出土遺物, S K 66出土遺物, S K 31出土遺物……………33</p> <p>図25 S K 28出土遺物……………34</p> <p>図26 S E 8出土遺物, S X 12出土遺物 ……………35</p> <p>図27 S X 25出土遺物, S X 23出土遺物, S E 12出土遺物(1)……………37</p> <p>図28 S E 12出土遺物(2)……………39</p> <p>図29 S D 15出土遺物, S D 16出土遺物, S D 21出土遺物, S K 23出土遺物 ……………41</p> <p>図30 茶褐色土出土遺物……………42</p>

図31 軒丸瓦	45	図55 S X 2 出土遺物(2)	75
図32 軒平瓦	46	図56 S X 2 出土遺物(3)	76
図33 丸瓦(1)	47	図57 S X 2 出土遺物(4)	78
図34 丸瓦(2)	48	図58 S X 2 出土遺物(5)	79
図35 平瓦(1)	49	図59 S X 2 出土遺物(6)	80
図36 平瓦(2)	50	図60 S X 2 出土遺物(7)	81
図37 塼(1)	51	図61 S X 2 出土遺物(8)	82
図38 塼(2)	52	図62 S X 4 出土遺物(1)	83
図39 塼(3)	53	図63 S X 4 出土遺物(2)	84
図40 近世の遺構	54	図64 S X 4 出土遺物(3)	85
図41 S X 22出土遺物	55	図65 S D 2 出土遺物, S D 14出土遺物, S F 2 整地土出土遺物, S K 13出土遺物, S D 3 出土遺物	86
図42 S X 22出土銭貨	56	図66 S X 2 出土刻印瓦	87
図43 S F 3 層位	59	図67 近代の遺構	88
図44 S F 4 以前遺物, S F 4 出土遺物, S X 42出土遺物	61	図68 近代の遺物	90
図45 S X 41出土遺物, S D 25出土遺物	62	図69 尾張藩吉田邸屋敷図	94
図46 S F 3 出土遺物, S F 3・S F 4 合流部出土遺物	63	図70 明治30年の京都大学本部構内	95
図47 S F 2 出土遺物(1)	65	吉田南構内A R 24区の発掘調査	
図48 S F 2 出土遺物(2)	66	図71 調査区の位置	97
図49 S D 28出土遺物, S D 13出土遺物	67	図72 調査区東西畦南壁の層位	99
図50 幕末の遺構	69	図73 斜面部分層位	101
図51 S D 1・S D 2 層位	70	図74 黄色砂除去後の地形	103
図52 調査区西南隅拡張区の層位	71	図75 砂脈や断層付近の層位	104
図53 S X 6 出土遺物(1)	73	図76 縄文・弥生時代土器の出土傾向	105
図54 S X 6 出土遺物(2), S X 2 出土遺物(1)	74	図77 S X 18・S X 19出土状況	106
		図78 縄文後期以前の土器(1)	109

図79 縄文後期以前の土器(2)……………	111	図107 古墳～奈良時代の遺物……………	150
図80 縄文後期以前の土器(3)……………	112	図108 S X 10出土遺物, S K 20出土遺物, S D 130出土遺物……………	151
図81 縄文後期以前の土器(4)……………	113	図109 S D 84出土遺物, S D 87出土遺物, S D 113出土遺物, S D 136出土遺物……………	152
図82 縄文後期以前の土器(5)……………	115	図110 S K 11出土遺物, S K 15出土遺物, S K 16出土遺物, S K 17出土遺物, S K 18出土遺物, S K 19出土遺物, S K 22出土遺物……………	153
図83 縄文後期以前の土器(6)……………	117	図111 S X 4 出土遺物, S X 5 出土遺物, S X 6 出土遺物, S X 11出土遺物……………	154
図84 縄文後期以前の土器(7)……………	118	図112 黒褐色土出土遺物……………	156
図85 縄文後期以前の土器(8)……………	119	図113 青銅製品, 鉄製品……………	157
図86 縄文後期以前の土器(9)……………	121	図114 経塚 S X 1 出土状況……………	159
図87 縄文後期以前の土器(10)・ 土製品……………	122	図115 S X 1 経筒最下段出土状況・ 東小石室の平面と断面 ……………	160
図88 縄文晩期の土器(1)……………	123	図116 S X 1 下の堆積状況……………	161
図89 縄文晩期の土器(2)……………	124	図117 S X 1 石室内出土遺物……………	163
図90 弥生前期の土器(1)……………	127	図118 S X 1 周辺出土遺物……………	164
図91 弥生前期の土器(2)……………	129	図119 S X 1 ガラス玉出土状況 ……………	166
図92 弥生前期の土器(3)……………	130	図120 S X 1 出土ガラス玉の法量分布 ……………	166
図93 弥生前期の土器(4)……………	131	図121 S X 1 出土ガラス玉……………	167
図94 弥生前期の土器(5)……………	132	図122 中世の遺構……………	172
図95 弥生前期の土器(6)……………	133	図123 東西大溝の断面……………	173
図96 弥生前期の土器(7)……………	134	図124 石室 S K 26……………	174
図97 条痕文土器……………	136		
図98 縄文・弥生時代石器の出土位置 ……………	138		
図99 縄文・弥生時代の石器(1)………	139		
図100 縄文・弥生時代の石器(2)………	140		
図101 縄文・弥生時代の石器(3)………	141		
図102 弥生中期の土器(1)……………	143		
図103 弥生中期の土器(2)……………	144		
図104 古代の遺構……………	146		
図105 掘立柱建物 S H 1 ……………	147		
図106 掘立柱建物 S H 2 ……………	148		

図125 S D85出土遺物, S D86出土遺物, S D106 S 出土遺物, S D113上層出土遺物, S K 4 出土遺物……………	176	図146 平安期の丸瓦……………	210
図126 S X 2 出土遺物, S K 7 出土遺物……………	177	図147 平安期の平瓦(1)……………	211
図127 S D51出土遺物, S A 1 柱穴埋土出土遺物, S A 2 柱穴埋土出土遺物, S A 3 柱穴埋土出土遺物, S A 4 柱穴埋土出土遺物……	178	図148 平安期の平瓦(2)……………	212
図128 S D106N下層出土遺物(1)……	179	図149 鎌倉期の丸瓦・平瓦……………	213
図129 S D106N下層出土遺物(2)……	180	図150 本調査区における軒瓦の セット関係……………	214
図130 S D106N下層出土遺物(3)……	181	図151 篋記号・刻印……………	217
図131 S D106N上層出土遺物(1)……	182	図152 近世の遺構……………	221
図132 S D106N上層出土遺物(2)……	183	図153 S K 8 出土遺物, S D 2 下層出土遺物, S D40出土遺物……………	222
図133 S D106N上層出土遺物(3)……	184	図154 S K 3 出土遺物, S D 2 上層出土遺物, S D 3 出土遺物, S D 4 出土遺物, S P34出土遺物……………	223
図134 茶褐色土出土遺物, 茶褐色土高まり出土遺物……	185	図155 S D44出土遺物, S E 2 出土遺物, S E 3 出土遺物, S E 8 出土遺物, S P 5 出土遺物, S P 7 出土遺物, S P82出土遺物, 近世小ピット出土遺物, 植木枝根跡出土遺物……………	224
図135 軒丸瓦(1)……………	189	図156 灰褐色土出土遺物……………	225
図136 軒丸瓦(2)……………	191	図157 表土出土遺物……………	226
図137 軒丸瓦(3)……………	193	図158 周辺調査区検出の 中世のおもな溝状遺構……	233
図138 軒丸瓦(4)……………	195	京都大学病院構内・本部構内の立合調査	
図139 軒丸瓦(5)……………	197	図159 病院構内 A F 13区の立合地点 ……………	235
図140 軒平瓦(1)……………	199		
図141 軒平瓦(2)……………	201		
図142 軒平瓦(3)……………	203		
図143 軒平瓦(4)……………	205		
図144 軒平瓦(5)……………	207		
図145 軒平瓦(6)……………	209		

図160 A F 13区北壁の層位……………	236	図177 南縁側に分布する小破片の接合線	
図161 本部構内A T 25区の立合地点		……………	275
……………	237	図178 口縁・胴中部・底部付近の	
図162 西トレンチ東壁の層位……………	238	破片の接合線……………	276
遺棄から埋没まで		図179 垂直方向の破損線にはさまれた	
図163 遺跡と遺構の位置……………	254	胴下半部の破片の接合線	
図164 S X 5の検出層位と周辺の層位		……………	276
……………	256	図180 破損線に囲まれた	
図165 S X 5出土土器……………	258	主な破片群の位置……………	277
図166 出土土器片の接合のしかたと		図181 各主要破片群を構成する	
破損線……………	259	破片の分布……………	277
図167 各部の詳細……………	261	中世吉田地域の景観復原	
図168 内外面の摩滅の傾向……………	264	図182 『山城国吉田村古図』にみえる	
図169 出土土器片の分布……………	267	小字名……………	289
図170 出土破片の標高から推定した		図183 撰閤家関係系図……………	290
S X 5 一帯の等高線……………	268	図184 吉田堂関係系図……………	291
図171 出土破片の大きさと長軸方位		図185 勸修寺流吉田家関係系図……………	293
……………	268	図186 『吉田社部類』による	
図172 出土破片の口縁方位……………	270	社殿配置の復原……………	301
図173 出土破片の出土時の向き……………	272	考古資料としての蓮月焼	
図174 出土破片の内外面の摩滅程度		図187 京都大学病院構内の調査地点と	
……………	272	推定蓮月居住地……………	314
図175 出土破片の接合関係と		図188 蓮月焼(1)……………	317
接合破片間の接着程度……………	274	図189 蓮月焼(2)……………	319
図176 密着程度は低いが接着面積の		図190 蓮月焼(3)……………	321
小さくない破片どうしの接合線			
……………	274		

表 目 次

表 1	古代～中世の出土銭貨一覧……………43	表 8	ガラス玉測定結果…………… 169
表 2	近世の出土銭貨一覧……………57	表 9	軒丸瓦の遺構別出土点数…………… 187
表 3	縄文・弥生時代遺物の出土点数 …………… 107	表10	軒平瓦の遺構別出土点数…………… 198
表 4	弥生前期土器の属性別破片数 …………… 126	表11	S D51における軒丸瓦・丸瓦の 窺記号…………… 218
表 5	縄文・弥生時代石器の属性 …………… 137	表12	S D51における軒平瓦の窺記号 …………… 218
表 6	S X 4～6・S K11出土 土師器計測結果…………… 155	表13	遺構出土瓦の隅数計測…………… 218
表 7	S X 1 出土ガラス玉の属性 …………… 168	表14	京都大学構内のおもな調査… 244
		表15	14世紀中葉～16世紀の 吉田社関連年表…………… 300

第 I 部 2001年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

- 第1章 2001年度京都大学構内遺跡調査の概要
- 第2章 京都大学本部構内AT21区の発掘調査
- 第3章 京都大学吉田南構内AR24区の発掘調査
- 第4章 京都大学病院構内・本部構内の立合調査

第Ⅱ部 京都大学埋蔵文化財研究センター紀要XⅦ

遺棄から埋没まで

富井 眞

中世吉田地域の景観復原

吉江 崇

考古資料としての蓮月焼

千葉 豊

2006年3月31日 発行

京都大学構内遺跡調査研究年報
2001年度

編集 京都大学埋蔵文化財研究センター
発行 京都市左京区吉田本町
印刷 三星商事印刷株式会社
製本 京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町300